

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（3年次）

~TANKYU~

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 11. 7
No.37 文責 伊藤

4年 体育科 「みんなで楽しむ 南小ダンスパーティー（F 表現運動 リズムダンス）」

4年 授業研究 成果と課題

個人研究のテーマについて

◇特別支援教育の視点から見る「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた教科指導の在り方

○大型テレビで見ながら基本ステップに取り組めたのは良かった。
○単元計画やお手本動画など、視覚的なよりどころが準備されていた。

△「誰一人取り残さない」ためには、振付師が考えた YouTube のダンス動画では難しすぎるように感じる。

△基本ステップが身につけていないままグループの時間に流れてしまった。



授業の構成・流れ等について（その他）

○子ども達がイキイキ動いていた様子から、子ども達の取り組み方が良かったと言える。

○担任が踊ったダンス動画があることで、個別に取り組みやすいし、より意欲も高まりやすかった。

△もっと基本ステップの時間を長く取るなどして十分な活動量を確保したい。

△参考動画と基本ステップがかけ離れていて、活かさない。

△ダンス動画は完成度が高すぎて、それをアレンジするのは難しい。音楽だけを与えて考えた方が、子ども達もアレンジ合いやすいし、基本ステップも活かしやすい。

【笹原指導主事のご指導から】

- 子ども達の学習を評価する時に、「観察」が複数あるのは見取るのが難しい。
 - 体育の見方・考え方の意識（する・知る・見る・支える）
- 本当は「お互いの動き」を見合いたいが、今回は「タブレット」を見る時間になっていた。
- 動画を参考にするとアレンジしづらい。
- 音楽だけを流す、決められた拍に合わせて動きを作るなどはどうか。